

事後評価書（期中の評価）

都道府県名	北海道	関係市町村	ウツカナイシ 稚内市	期中評価実施の理由	④
-------	-----	-------	---------------	-----------	---

事業名	直轄特定漁港漁場整備事業（直轄漁港整備事業）				
地区名	ヒガシウラ 東浦	事業主体	国（北海道開発局）		

I 基本事項

1. 地区概要				
漁港名（種別）	東浦漁港（第4種）		漁場名	—
陸揚金額	4,004 百万円		陸揚量	14,351 トン
登録漁船隻数	41 隻		利用漁船隻数	55 隻
主な漁業種類	ホタテガイ桁曳き網、サケ定置網		主な魚種	ホタテ、サケ、タコ
漁業経営体数	21 経営体		組合員数	28 人
地区の特徴	東浦漁港は、北海道北部宗谷岬の東側に位置し、オホーツク海北部海域のホタテガイ桁曳き網漁業等の生産・流通拠点であるとともに、宗谷海峡で操業、航行する漁船の避難拠点として重要な役割を担っている。			
2. 事業概要				
事業目的	宗谷北部圏域の流通拠点漁港として、屋根付き岸壁の整備を行うことにより衛生管理対策を推進し、EU向けホタテ輸出の拡大による国際化に対応した力強い水産業づくりや、国民への安全・安心な水産物の供給を目指す。また、陸揚岸壁の耐震強化により、災害発生後の漁業活動の早期再開を確保する。			
主要工事計画	島防波堤80.0m、-3.5m泊地 31,000㎡、-3.5m岸壁 160.0m、 -3.5m岸壁(改良)110.0m、道路(改良)1,123.0m ほか			
事業費	6,247百万円		事業期間	平成27年度～令和11年度
既投資事業費	4,182百万円		事業進捗率(%)	67%

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
	直前の評価	今回の評価	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり	
総費用（千円）	3,037,180	6,789,840		
総便益（千円）	3,986,413	7,557,803		
費用便益費(B/C)	1.31	1.11		
総費用の変更の理由				
-3.5m岸壁の水深変化による構造見直しと施工量増加、-3.5m岸壁及び-3.5m岸壁(改良)屋根施設の鋼材価格等の上昇、-3.5m泊地における海上施工の制約による施工期間の増加、道路及び用地に使用するアスファルト価格の上昇、-3.0m岸壁(改良)排水対策の追加等により、事業費の見直しを行った結果、総費用が増加した。				
便益算定項目について変更がある場合はその項目と変更の理由				
-3.0m岸壁(改良)排水対策の追加による漁獲機会の増大効果及び岸壁清掃時間の削減、-3.0m岸壁(改良)による就労環境の向上、屋根施設整備による水掛作業時間の削減、-3.5m泊地整備による漁船航行時間の削減便益を追加した。また、全体便益として、労務単価や漁船建造費等の基礎データ更新により便益が増加した。				
その他費用対効果分析に係る要因の変化				
-3.5m岸壁(改良)、道路及び用地の埠頭整備における利用者調整や施工期間の調整に加えて、-3.0m岸壁(改良)排水対策の追加等により、事業完了年度を変更(令和6年度→令和11年度)した。				

2. 漁業情勢、社会経済情勢の変化	
	(1) 漁業情勢及び漁港施設、漁場施設等の利用状況と将来見通し
	計画策定後の漁業集落に関わる社会経済状況、自然状況の当初想定との相違と将来見通し
	漁港利用漁業者数は、横這い傾向で安定的に推移しており、東浦地区は若い漁業者が多く、後継者も確保されていることから、今後も同程度に推移すると見込まれる。
	漁業形態、流通形態について当初想定との相違と将来見通し
	宗谷漁業協同組合では、安全・安心な水産物の供給を図るため、東浦漁港における衛生管理対策の強化とともに、漁場形成状況に応じた水産物の陸揚げ集約化を目指しており、今後も安定的な漁家経営が見込まれる。
	漁港施設等の利用状況について当初想定との相違と将来見通し
	東浦漁港の利用漁船隻数は、宗谷管内の第1種及び第2種漁港に所属する外来船を含め、年間55隻程度で安定的に推移している。また、東浦地区では、組合員のほとんどが主力のホタテガイ漁業に参画し、漁業経営が安定していることから、今後も同程度の利用が見込まれる。
(2) その他社会情勢の変化	
特になし	
3. 事業の進捗状況	
令和6年度までに、衛生管理対策や就労改善施設として屋根付き岸壁計7棟のうち5棟が完成する見通しであり、事業の進捗率は67%である。残事業として、-3.5m岸壁(屋根付き岸壁2棟)、道路及び用地の衛生管理対策、島防波堤の静穏度対策、-3.0m岸壁(改良)の排水対策等の整備を令和11年度完了に向けて推進する。	
4. 関連事業の進捗状況	
宗谷漁業協同組合では、ホタテガイのEU向け輸出の拡大を目指し、東浦漁港岸壁での水揚げ、加工場への搬送において「北海道対EU輸出ホタテガイ管理要領(宗谷北東部海域)」等を遵守した体制となるよう漁業者及びEU-HACCPの認定を受けた民間加工場を交えた研修会等を継続的に開催し、衛生管理に対する啓蒙を図っている。また、活け締め鮭「宗生」、「活ホタテ」などの宗谷ブランドの確立・普及に向けた取組を展開するなど、他地域との差別化や付加価値化による安定した漁業経営の実現に向けて体制を強化している。	
5. 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	
1) 稚内市 東浦漁港は、オホーツク海北部海域のホタテガイ桁曳き網漁業の生産・流通の拠点として、また宗谷岬東部海域で操業・航行する漁船の避難拠点として重要な役割を担っており、関連する水産加工業とともに水産業が主要産業であることを踏まえ、重要な社会基盤である東浦漁港の整備推進を強く求めている。	
2) 宗谷漁業協同組合 東浦漁港では、オホーツク海北部海域のホタテガイ桁曳き網漁業の生産・流通の拠点、ホタテガイ地撒養殖漁場に対する作業前進基地としての役割を担っていることから、水産物の衛生管理体制の強化や漁業者の就労環境改善のための施設整備を強く求めている。また、東浦漁港は、宗谷岬東側に位置する第4種漁港であり、東浦や猿払の沖合で操業する漁船や宗谷岬沖を航行する漁船の避難基地として重要な役割を担っていることから、港内静穏を確保し、荒天時にも漁船が安全に避難利用可能となる施設整備を強く求めている。	

6. 事業コスト縮減等の可能性	
	今後の整備では、路盤材や固化処理土等には工事発生材を有効活用する等、事業コストの縮減に努める。
7. 代替案の実現可能性	
	該当なし。

Ⅲ 総合評価

東浦漁港はホタテ桁曳き網漁業等の生産・流通の拠点であるとともに、宗谷海峡で操業・航行する漁船の避難拠点としての重要な役割を担っている。

このため、衛生管理の強化・就労環境改善のための屋根付き岸壁、避難機能の強化や港内静穏度向上のための外郭施設整備、準備・休けい岸壁の確保に向けた係留施設整備によって、周辺海域で操業する漁船の安全かつ効率的な漁業活動に寄与する事業であると考えられる。

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果の投資効果も1.0を超えていることから、計画を変更の上、事業を継続する必要がある。

引き続き、コスト縮減に取り組むとともに、適正な事業費および事業期間の管理に努める。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	北海道	地区名	ヒガシウラ 東浦
事業名	直轄特定漁港漁場整備事業	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

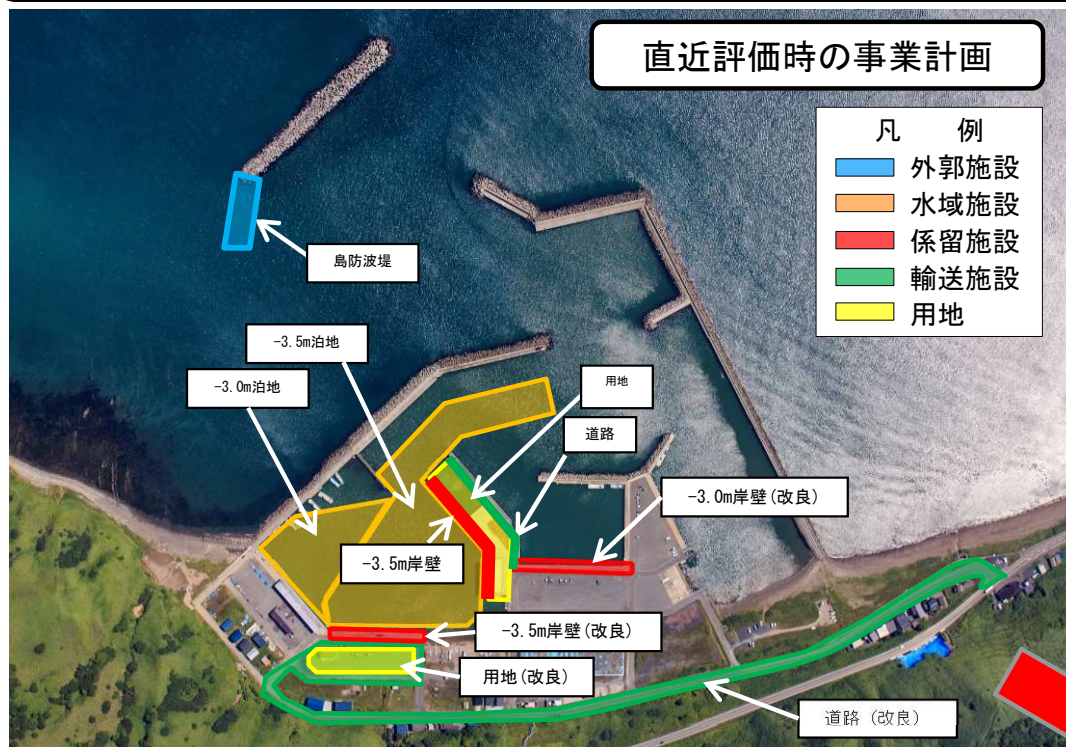
便益の 評価項目 及び 便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	831, 551	千円
		②漁獲機会の増大効果	334, 629	千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果		千円
		④漁獲物付加価値化の効果	5, 518, 259	千円
	漁業就労環境の向上	⑤漁業就労環境の労働環境改善効果	45, 511	千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果		千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果		千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果	706, 604	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果	121, 249	千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬漁港利用者の利便性向上効果		千円
⑭その他			千円	
計（総便益額）		B	7, 557, 803	千円
総費用額（現在価値化）		C	6, 789, 840	千円
費用便益比		B／C	1. 11	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

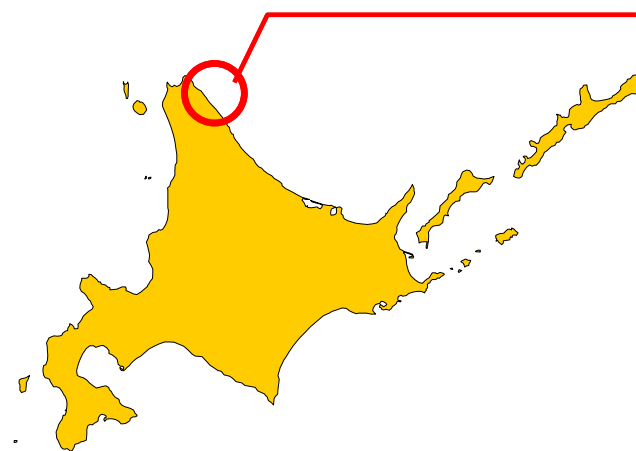
- ・安全・安心な東浦産ホタテガイの消費者への提供
- ・地域漁業の持続的な発展
- ・屋根付き岸壁の整備により、放流するホタテガイの稚貝を屋根下で取り扱うことにより、ホタテガイの生存率が改善し、生産性の向上が図られる。
- ・東浦地域マリンビジョン協議会と連携した地産地消の推進や地域PRの促進が図られる。

直轄特定漁港漁場整備 東浦地区 事業概要図

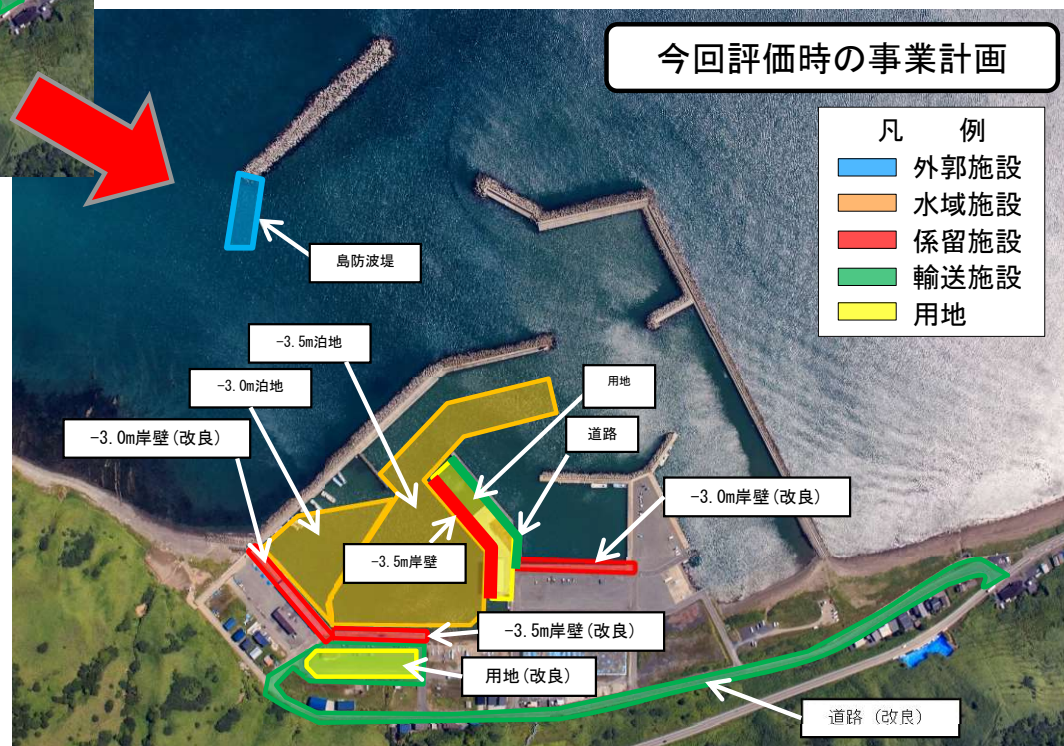
直近評価時の事業計画



東浦漁港(稚内市)



今回評価時の事業計画



事業主体：国（北海道開発局）

主要工事計画：

-3.5m岸壁 160m

-3.5m岸壁（改良）110m

-3.5m泊地 31,000m² ほか

（直前評価時の事業費及び事業期間）

事業費：3,600百万円

事業期間：平成27年度～令和6年度

（今回評価時の事業費及び事業期間）

事業費：6,247百万円

事業期間：平成27年度～令和11年度

東浦地区

直轄特定漁港漁場整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1)事業目的：宗谷北部圏域の流通拠点漁港として、屋根付き岸壁の整備によりEU向けホタテガイ輸出促進等の衛生管理対策、漁業者の就労環境改善を推進する。また、外郭施設及び係留施設の整備により安全かつ効率的な漁業活動を確保する。さらに、陸揚岸壁の耐震強化により、災害発生後の漁業活動の早期再開を確保する。
- (2)主要工事計画：-3.5m岸壁160m、-3.5m岸壁(改良)110m、-3.5m泊地31,000㎡ほか
- (3)事業費：6,247百万円
- (4)工期：平成27年度～令和11年度

2. 総費用便益比の算定

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和6年6月改定 水産庁）及び同「参考資料」（令和6年6月改定 水産庁）等に基づき算定

(1)総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	6,789,840 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	7,557,803 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.11

(2)総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
島防波堤	L= 80.0 m	150,000
-3.0m泊地	A= 6,700.0 ㎡	100,000
-3.5m泊地	A= 31,000.0 ㎡	673,000
-3.0m岸壁(改良)	L= 120.0 m	53,000
-3.5m岸壁	L= 160.0 m	2,728,000
-3.5m岸壁(改良)	L= 110.0 m	1,968,000
道路	L= 177.0 m	406,000
道路(改良)	L= 1,123.0 m	20,000
用地	A= 1,900.0 ㎡	131,000
用地(改良)	A= 3,500.0 ㎡	18,000
計		6,247,000
維持管理費等		32,700
総費用(消費税込)		6,279,700
内、消費税額		557,755
総費用(消費税抜)		5,721,945
現在価値化後の総費用		6,789,840

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準 便益額 (千円)	効果の要因(主要内容)
水産物生産コストの削減効果		44,453	・岸壁及び島防波堤整備による漁船耐用年数の延長効果(便益額=11,418千円/年) ・岸壁及び島防波堤整備による荒天時見回り等に要する作業時間の短縮(便益額=15,584千円/年) ・岸壁及び島防波堤整備による休けい・準備に要する作業時間の短縮(便益額=8,750千円/年) ・島防波堤整備による準備作業コスト等の削減(便益額=1,120千円/年) ・衛生管理施設整備によるホタテガイ荷さばき作業時間の削減効果(便益額=2,090千円/年) ・排水施設改良による岸壁エプロン清掃時間の削減効果(便益額=1,761千円/年) ・直射日光によるトラック荷台の温度上昇に伴う水掛作業時間の削減(便益額=2,377千円/年) ・泊地整備による漁船の航行時間の削減(便益額=1,367千円/年)
漁獲機会の増大効果		18,223	・排水施設改良による漁獲機会の増大効果(便益額=18,223千円/年)
漁獲物付加価値化の効果		264,480	・衛生管理施設整備による魚価安定化等の効果(便益額=249,997千円/年) ・ホタテガイの陸揚げに対応した屋根付き岸壁の整備による出荷量の増加(便益額=14,483千円/年)
漁業就業者の労働環境改善効果		2,366	・岸壁の屋根掛け整備に伴う陸揚作業環境の改善(便益額=825千円/年) ・-3.0m岸壁改良による就労環境の向上(便益額=1,541千円/年)
生命・財産保全・防御効果		40,601	・陸揚げ岸壁の耐震強化に伴う漁業活動損失回避(便益額=13,793千円/年) ・耐震強化岸壁整備による施設被害の回避(便益額=26,809千円/年)
避難・救助・災害対策効果		6,603	・漁港施設の整備による海難損失の回避効果(便益額=6,603千円/年)
計		376,726	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価 期間	年 度	割引率	デフレーター	費用(千円)			便益額(千円)							
				事業費 (維持管理費含 む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費含 む)	水産物生 産コスト の削減効 果	漁獲機会 の増大効 果	漁獲物付 加価値化 の効果	漁業就業 者の労働 環境改善 効果	生命・財 産保全・ 防御効果	避難・救 助・災害 対策効果	計	現在価値
		①	②		③	①×②×③							④	①×④
-9	H27	1.423	1.373	50,000	46,296	90,452	0	0	0	0	0	0	0	0
-8	H28	1.369	1.373	116,629	107,990	202,982	0	0	0	0	0	0	0	0
-7	H29	1.316	1.337	287,000	265,741	467,569	0	0	0	0	0	0	0	0
-6	H30	1.265	1.295	325,000	300,926	492,969	0	0	0	0	0	0	0	0
-5	R1	1.217	1.260	158,004	143,640	220,260	0	0	0	0	0	0	0	0
-4	R2	1.170	1.241	1,090,004	990,913	1,438,776	0	0	0	0	0	0	0	0
-3	R3	1.125	1.197	431,004	391,822	527,637	0	0	0	0	0	0	0	0
-2	R4	1.082	1.101	133,159	121,054	144,209	652	0	75,187	235	0	0	76,074	82,312
-1	R5	1.040	1.000	1,458,159	1,325,599	1,378,623	652	0	75,187	235	0	0	76,074	79,117
0	R6	1.000	1.000	133,159	121,054	121,054	652	0	75,187	235	0	0	76,074	76,074
1	R7	0.962	1.000	375,366	341,242	328,275	3,738	0	174,650	545	40,601	0	219,534	211,192
2	R8	0.925	1.000	588,936	535,396	495,241	4,928	0	174,650	545	40,060	0	220,183	203,669
3	R9	0.889	1.000	549,307	499,370	443,940	4,928	0	174,650	545	39,526	0	219,649	195,268
4	R10	0.855	1.000	453,471	412,246	352,470	4,928	0	174,650	545	38,999	0	219,122	187,349
5	R11	0.822	1.000	100,644	91,495	75,209	44,277	18,223	264,483	2,366	38,479	6,603	374,431	307,782
6	R12	0.790	1.000	654	595	470	44,454	18,223	264,483	2,366	37,966	6,603	374,095	295,535
7	R13	0.760	1.000	654	595	452	44,454	18,223	264,483	2,366	37,460	6,603	373,589	283,928
8	R14	0.731	1.000	654	595	435	44,454	18,223	264,483	2,366	36,960	6,603	373,089	272,728
9	R15	0.703	1.000	654	595	418	44,454	18,223	264,483	2,366	36,467	6,603	372,596	261,935
10	R16	0.676	1.000	654	595	402	44,454	18,223	264,483	2,366	35,981	6,603	372,110	251,546
11	R17	0.650	1.000	654	595	387	44,454	18,223	264,483	2,366	35,501	6,603	371,630	241,560
12	R18	0.625	1.000	654	595	372	44,454	18,223	264,483	2,366	35,028	6,603	371,157	231,973
13	R19	0.601	1.000	654	595	358	44,454	18,223	264,483	2,366	34,561	6,603	370,690	222,785
14	R20	0.577	1.000	654	595	343	44,454	18,223	264,483	2,366	34,100	6,603	370,229	213,622
15	R21	0.555	1.000	654	595	330	44,454	18,223	264,483	2,366	33,645	6,603	369,774	205,225
16	R22	0.534	1.000	654	595	318	44,454	18,223	264,483	2,366	33,197	6,603	369,326	197,220
17	R23	0.513	1.000	654	595	305	44,454	18,223	264,483	2,366	32,754	6,603	368,883	189,237
18	R24	0.494	1.000	654	595	294	44,454	18,223	264,483	2,366	32,317	6,603	368,446	182,012
19	R25	0.475	1.000	654	595	283	44,454	18,223	264,483	2,366	31,887	6,603	368,016	174,808
20	R26	0.456	1.000	654	595	271	44,454	18,223	264,483	2,366	31,461	6,603	367,590	167,621
21	R27	0.439	1.000	654	595	261	44,454	18,223	264,483	2,366	31,042	6,603	367,171	161,188
22	R28	0.422	1.000	654	595	251	44,454	18,223	264,483	2,366	30,628	6,603	366,757	154,771
23	R29	0.406	1.000	654	595	242	44,454	18,223	264,483	2,366	30,219	6,603	366,348	148,737
24	R30	0.390	1.000	654	595	232	44,454	18,223	264,483	2,366	29,817	6,603	365,946	142,719
25	R31	0.375	1.000	654	595	223	44,454	18,223	264,483	2,366	29,419	6,603	365,548	137,081
26	R32	0.361	1.000	654	595	215	44,454	18,223	264,483	2,366	29,026	6,603	365,155	131,821
27	R33	0.347	1.000	654	595	206	44,454	18,223	264,483	2,366	28,640	6,603	364,769	126,575
28	R34	0.333	1.000	654	595	198	44,454	18,223	264,483	2,366	28,258	6,603	364,387	121,341
29	R35	0.321	1.000	654	595	191	44,454	18,223	264,483	2,366	27,881	6,603	364,010	116,847
30	R36	0.308	1.000	654	595	183	44,454	18,223	264,483	2,366	27,510	6,603	363,639	112,001
31	R37	0.296	1.000	654	595	176	44,454	18,223	264,483	2,366	27,142	6,603	363,271	107,528
32	R38	0.285	1.000	654	595	170	44,454	18,223	264,483	2,366	26,780	6,603	362,909	103,429
33	R39	0.274	1.000	654	595	163	44,454	18,223	264,483	2,366	26,424	6,603	362,553	99,340
34	R40	0.264	1.000	654	595	157	44,454	18,223	264,483	2,366	26,071	6,603	362,200	95,621

【整理番号1】

35	R41	0. 253	1. 000	654	595	151	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	25, 723	6, 603	361, 852	91, 549	
36	R42	0. 244	1. 000	654	595	145	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	25, 381	6, 603	361, 510	88, 208	
37	R43	0. 234	1. 000	654	595	139	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	25, 042	6, 603	361, 171	84, 514	
38	R44	0. 225	1. 000	654	595	134	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	24, 708	6, 603	360, 837	81, 188	
39	R45	0. 217	1. 000	654	595	129	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	24, 378	6, 603	360, 507	78, 230	
40	R46	0. 208	1. 000	654	595	124	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	24, 054	6, 603	360, 183	74, 918	
41	R47	0. 200	1. 000	654	595	119	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	23, 733	6, 603	359, 862	71, 972	
42	R48	0. 193	1. 000	654	595	115	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	23, 417	6, 603	359, 546	69, 392	
43	R49	0. 185	1. 000	654	595	110	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	23, 104	6, 603	359, 233	66, 458	
44	R50	0. 178	1. 000	654	595	106	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	22, 797	6, 603	358, 926	63, 889	
45	R51	0. 171	1. 000	650	591	101	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	22, 493	6, 603	358, 622	61, 324	
46	R52	0. 165	1. 000	650	591	98	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	22, 193	6, 603	358, 322	59, 123	
47	R53	0. 158	1. 000	650	591	93	44, 454	18, 223	264, 483	2, 366	21, 896	6, 603	358, 025	56, 568	
48	R54	0. 152	1. 000	495	450	68	43, 073	18, 223	99, 463	1, 851	21, 605	6, 603	190, 818	29, 004	
49	R55	0. 146	1. 000	495	450	66	43, 073	18, 223	99, 463	1, 851	21, 316	6, 603	190, 529	27, 817	
50	R56	0. 141	1. 000	495	450	63	43, 073	18, 223	99, 463	1, 851	21, 033	6, 603	190, 246	26, 825	
51	R57	0. 135	1. 000	288	262	35	39, 987	18, 223	0	1, 541	0	6, 603	66, 354	8, 958	
52	R58	0. 130	1. 000	218	198	26	38, 620	18, 223	0	1, 541	0	6, 603	64, 987	8, 448	
53	R59	0. 125	1. 000	218	198	25	38, 620	18, 223	0	1, 541	0	6, 603	64, 987	8, 123	
54	R60	0. 120	1. 000	183	166	20	38, 620	18, 223	0	1, 541	0	6, 603	64, 987	7, 798	
55	R61	0. 116	1. 000	10	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
計						6, 789, 840	計								7, 557, 803

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

① 岸壁及び島防波堤整備による漁船耐用年数の延長効果

タコ、ナマコ漁業は、係船岸充足率の不足から北防波堤を使用している状況にある。しかし、北防波堤からの越波等により、漁船が岸壁と頻繁に接触し、船体の損傷被害が生じている。-3.0m岸壁(改良)により岸壁の利用とすること、また、島防波堤の整備により第2港区北側潤内-3.5m岸壁における静穏度を確保することで、通常の漁船係留利用が可能となるとともに、防波堤背後の利用が解消され、漁船の耐用年数の延長効果が図られる。

区分			数量	備考
対象漁船隻数	タコ漁業(3～5t)	(隻)	11	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	タコ漁業(5～10t)	(隻)	1	
	ナマコ漁業(3～5t)	(隻)	2	
平均トン数	タコ漁業(3～5t)	(トン/隻)	4.82	漁協ヒアリング(①と同じ)
	タコ漁業(5～10t)	(トン/隻)	7.45	
	ナマコ漁業(3～5t)	(トン/隻)	4.82	
漁船耐用年数	〔整備前〕	タコ漁業(3～5t)	7.00	減価償却資産の耐用年数等に関する省令(財務省)
		タコ漁業(5～10t)	7.00	
		ナマコ漁業(3～5t)	7.00	
	〔整備後〕	タコ漁業(3～5t)	10.17	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン参考資料(R6.6)
		タコ漁業(5～10t)	10.17	
		ナマコ漁業(3～5t)	10.17	
漁船建造費	タコ漁業(3～5t)	(千円/トン)	5,030	造船造機統計調査(国土交通省)
	タコ漁業(5～10t)	(千円/トン)	5,030	
	ナマコ漁業(3～5t)	(千円/トン)	5,030	
係留月数	タコ漁業(3～5t)	(月)	9	漁協ヒアリング(①と同じ)
	タコ漁業(5～10t)	(月)	9	
	ナマコ漁業(3～5t)	(月)	7	
耐用年数の延長	タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	8,907	①×②×(1/③-1/④) ×⑤×(⑥/12ヵ月)
	タコ漁業(5～10t)	(千円/年)	1,251	
	ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)	1,260	
年間便益額			千円/年	⑦の合計

② 岸壁及び島防波堤整備による荒天時見回り等に要する作業時間の短縮

荒天時に波浪注意報が発令された場合、漁船の係留状況等を確認するための見回り作業が行われる。岸壁及び島防波堤の整備により、荒天時においても係留場所の静穏度が保たれることから、見回り作業に要する時間及び経費の削減が可能となる。

区分			数量	備考		
対象漁船隻数	タコ漁業(3～5t)	(隻)	①	11	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
	タコ漁業(5～10t)	(隻)		1		
	ナマコ漁業(3～5t)	(隻)		2		
対象回数	タコ漁業(3～5t)	(回/年)	②	43.4	対象漁船の漁期間における当該地域の過去10か年(H25～R4)における年平均波浪注意以上の報発令回数(出典) 札幌管区气象台	
	タコ漁業(5～10t)	(回/年)		43.4		
	ナマコ漁業(3～5t)	(回/年)		26.9		
対象作業人数	タコ漁業(3～5t)	(人/隻)	③	2	漁協ヒアリング(①と同じ)	
	タコ漁業(5～10t)	(人/隻)		2		
	ナマコ漁業(3～5t)	(人/隻)		2		
波浪注意報以上発令1回当たり継続時間	タコ漁業(3～5t)	(回/時間)	④	38.9	当該地域の過去10か年(H25～R4)における年平均波浪注意報以上の継続時間(出典) 札幌管区气象台	
	タコ漁業(5～10t)	(回/時間)		38.9		
	ナマコ漁業(3～5t)	(回/時間)		38.9		
見回り作業時間間隔	〔整備前〕	タコ漁業(3～5t)	(時間)	⑤	8.0	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間)		8.0	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間)		8.0	
	〔整備後〕	タコ漁業(3～5t)	(時間)	⑥	24.0	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間)		24.0	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間)		24.0	
作業時間	〔整備前〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/日)	⑦	1.50	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/日)		1.50	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/日)		3.50	
	〔整備後〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/日)	⑧	0.50	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/日)		0.50	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/日)		1.17	
漁業者労務単価	タコ漁業(3～5t)	(円/時間)	⑨	1,773	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）	
	タコ漁業(5～10t)	(円/時間)		2,581		
	ナマコ漁業(3～5t)	(円/時間)		1,773		
作業時間の短縮	タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	⑩	10,975	$\textcircled{1} \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \times (\textcircled{4} / \textcircled{5} \times \textcircled{7} - \textcircled{4} / \textcircled{6} \times \textcircled{8}) \times \textcircled{9} / 1,000$	
	タコ漁業(5～10t)	(千円/年)		1,452		
	ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)		2,885		
(1) 見回り・監視作業時間の削減	千円/年			15,312	⑩の合計	
走行距離	タコ漁業(3～5t)	(時間)	⑪	1.0	漁協ヒアリング(①と同じ)	
	タコ漁業(5～10t)	(時間)		1.0		
	ナマコ漁業(3～5t)	(時間)		30.0		
走行経費	タコ漁業(3～5t)	(時間)	⑫	19.91	費用便益分析マニュアル（国土交通省道路局都市局、令和5年12月）	
	タコ漁業(5～10t)	(時間)		19.91		
	ナマコ漁業(3～5t)	(時間)		17.05		
GDPデフレーター	タコ漁業(3～5t)	(円/時間)	⑬	1.050	費用対効果分析ガイドライン参考資料(R6.6) GDPデフレーター：R6/R2	
	タコ漁業(5～10t)	(円/時間)		1.050		
	ナマコ漁業(3～5t)	(円/時間)		1.050		
車両経費の削減	タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	⑭	65	$\textcircled{1} \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \times (\textcircled{4} / \textcircled{5} - \textcircled{4} / \textcircled{6}) \times \textcircled{11} \times \textcircled{12} \times \textcircled{13} / 1,000$	
	タコ漁業(3～5t)	(千円/年)		6		
	ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)		187		
(2) 移動に要する車両経費の削減	千円/年			258	⑭の合計	
年間便益額	千円/年			15,570	⑩+⑭	

③ 岸壁及び島防波堤整備による休けい・準備に要する作業時間の短縮

タコ等、地元船の準備・休けい岸壁が不足しており、現状では北防波堤に係留している。しかし、北防波堤での係留は、作業幅が狭い、車両進入ができないなどの理由により、通常の休憩作業と比べて余計に作業時間がかかる上、準備作業時には漁具を徒歩で運ぶため車両と漁船の往復移動が必要となっている。-3.0m岸壁(改良)及び島防波堤の整備により、係留作業時間及び準備時の駐車車両から漁船までの移動時間が削減される。

区分				数量	備考	
対象漁船隻数		タコ漁業(3～5t)	(隻)	①	11	調査日：令和6年2月22日
		タコ漁業(5～10t)	(隻)		1	調査対象者：宗谷漁業協同組合職員
		ナマコ漁業(3～5t)	(隻)		2	調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業人数		タコ漁業(3～5t)	(人/隻)	②	3	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(人/隻)		3	
		ナマコ漁業(3～5t)	(人/隻)		2	
出漁日数		タコ漁業(3～5t)	(回/年)	③	135	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(回/年)		135	
		ナマコ漁業(3～5t)	(回/年)		80	
作業時間	〔整備前〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/回)	④	0.50	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/回)		0.50	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/回)		0.50	
	〔整備後〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/回)	⑤	0.25	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/回)		0.25	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/回)		0.25	
漁業者労務単価		タコ漁業(3～5t)	(円/時間)	⑥	1,773	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
		タコ漁業(5～10t)	(円/時間)		2,581	
		ナマコ漁業(3～5t)	(円/時間)		1,773	
作業時間の短縮		タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	⑦	1,975	①×② × ③×(④- ⑤) ×⑥/1000
		タコ漁業(5～10t)	(千円/年)		261	
		ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)		142	
(1) 強固な係留作業時間の解消				千円/年	2,378	⑦の合計
移動時間	〔整備前〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/回)	⑧	0.67	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/回)		0.67	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/回)		0.67	
	〔整備後〕	タコ漁業(3～5t)	(時間/回)	⑨	0.00	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(時間/回)		0.00	
		ナマコ漁業(3～5t)	(時間/回)		0.00	
漁業者労務単価		タコ漁業(3～5t)	(円/時間)	⑩	1,773	漁協ヒアリング(①と同じ)
		タコ漁業(5～10t)	(円/時間)		2,581	
		ナマコ漁業(3～5t)	(円/時間)		1,773	
移動時間の短縮		タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	⑪	5,292	①×②× ③×(⑧-⑨) ×⑩/1000
		タコ漁業(5～10t)	(千円/年)		700	
		ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)		380	
(2) 移動時間削減便益				千円/年	6,372	⑪の合計
年間便益額				千円/年	8,750	⑦+⑪

④ 島防波堤整備による準備作業コスト等の削減

本漁港第2港区の岸壁では、うねり波浪来襲時において、船体動揺が発生し準備作業の効率性、安全性に支障が生じている。具体的には、出漁限界となる1.5～2.0m程度の波の高さの日において、帰港後や出港時の出漁準備作業が船体動揺によって通常より時間がかかっている。また、これまでに係留ロープの破断も2度ほど発生しており、その分の作業時間もかかっている。また、静穏度不足から休けいは、静穏度が確保されている岸壁に移動して行う必要がある。島防波堤を延伸することにより、第1港区の岸壁及び第2港区北側潤内の静穏度の向上が図られることから、利用漁船の準備・休けいに要する作業コストが削減される。さらに、これまで定期的な交換に加えて2回/年余計にかかっていたロープの交換作業時間が削減される。

区分			数量	備考
対象隻数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻) ①	7	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象作業人数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(人/隻) ②	15	漁協ヒアリング(①と同じ)
対象日数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(日/年) ③	8	漁協ヒアリング(①と同じ)
作業時間	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(時間/日) ④	1.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(時間/日) ⑤	0.5 漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業者労務単価	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(円/時間) ⑥	2,177	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
労働時間削減便益	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年) ⑦	914	①×②×③×(④-⑤) ×⑥/1000
(1) 労働時間削減便益	千円/年		914	⑦の合計
対象隻数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻) ⑧	3	漁協ヒアリング(①と同じ)
作業人数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(人/隻) ⑨	6	漁協ヒアリング(①と同じ)
交換回数	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(回) ⑩	2.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(回) ⑪	0.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
作業時間	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(時間/回) ⑫	2.0	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業者労務単価	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(円/時間) ⑬	2,177	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
労働時間の削減	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年) ⑭	157	⑧×⑨×(⑩-⑪) ×⑫×⑬
(2) ロープ破断作業時間削減便益	千円/年		157	⑭の合計
漁船馬力	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(ps) ⑮	94.8	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料(R6.6)
漁船燃費	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(kg / ps・hr) ⑯	0.17	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料(R6.6)
燃料重量	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(kg/m3) ⑰	860	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料(R6.6)
燃料単価	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(円/ l) ⑱	94.3	石油製品価格調査（経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部）
燃料等の削減	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年) ⑲	49	①×③×(④-⑤) ×⑮/⑯×⑰×⑱×0.2
(3) 燃料等削減便益	千円/年		49	⑲の合計
年間便益額	千円/年		1,120	⑦+⑭+⑲

⑤ 衛生管理施設整備によるホタテガイ荷さばき作業時間の削減効果

EU向けホタテガイは、野天岸壁でトラック荷台に陸揚げ後、専用容器に詰めてからフォークリフトにより既設屋根施設への横持ちしてから荷受先に輸送するトラックの積込む作業が生じていた。ホタテガイ対応の屋根施設の整備にあわせて、専用容器での輸送からトラック直済みに荷役方法を変更したことで、荷捌・計量・出荷に至る作業人数と作業時間の削減が図られる。

区分			数量	備考
対象隻数		ホタテガイ漁業(10～20 t) (隻) ①	2	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象日数		ホタテガイ漁業(10～20 t) (日/年) ②	40	漁協ヒアリング(①と同じ)
作業人数	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20 t) (人/隻) ③	14	漁協ヒアリング(①と同じ)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20 t) (人/隻) ④	4	漁協ヒアリング(①と同じ)
対象作業時間	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20 t) (時間/日) ⑤	1.6	漁協ヒアリング(①と同じ)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20 t) (時間/日) ⑥	0.4	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業者労務単価		ホタテガイ漁業(10～20 t) (円/時間) ⑦	2,177	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
労働時間の削減		ホタテガイ漁業(10～20 t) (千円/年) ⑧	2,090	①×②×(③-④)×(⑤-⑥)×⑦/1,000
年間便益額 千円/年			2,090	⑧の合計

⑥ 排水施設改良による岸壁エプロン清掃時間の削減効果

本漁港の第1港区の-3.0m岸壁では、大雨や雪解け水が漁港内の排水施設に流入し、排水溝の中に土砂やゴミが詰まるため、清掃作業を行っている。排水施設の改良により、清掃作業が不要になることから、作業コストの削減が図られる。なお、清掃作業の発生は、これまでサケ定置網漁業の作業中に発生したため、対象作業人数等はサケ定置網漁業を対象とする。

区分			数量	備考
対象隻数	サケ定置網漁業(10～20t)	(隻)	①	1 調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	サケ定置網漁業(5～10t)	(隻)		
作業人数	サケ定置網漁業(10～20t)	(人／隻)	②	15 漁協ヒアリング(①と同じ)
	サケ定置網漁業(5～10t)	(人／隻)		
対象日数	サケ定置網漁業(10～20t)	(日／年)	③	8 漁協ヒアリング(①と同じ)
	サケ定置網漁業(5～10t)	(日／年)		
作業時間	〔整備前〕	サケ定置網漁業(10～20t)	④	2.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
		サケ定置網漁業(5～10t)		
	〔整備後〕	サケ定置網漁業(10～20t)	⑤	0.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
		サケ定置網漁業(5～10t)		
漁業者労務単価	サケ定置網漁業(10～20t)	(円/時間)	⑥	2,177 令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
	サケ定置網漁業(5～10t)	(円/時間)		
清掃時間の削減	サケ定置網漁業(10～20t)	(千円/年)	⑦	522 ①×②×③×(④－⑤) ×⑥/1000
	サケ定置網漁業(5～10t)	(千円/年)		
年間便益額	千円/年		1,761	⑦の合計

⑦ 直射日光によるトラック荷台の温度上昇に伴う水掛作業時間の削減

現状、ホタテガイ漁業の陸揚作業は野天であるため、気温が高い時期（5月～9月）にはホタテガイ漁船の帰港にあわせて待機するトラックの荷台が直射日光により温度上昇して陸揚げするホタテガイの鮮度保持に悪影響を及ぼすことから、トラック荷台への水掛作業により温度を低減させる作業が必要になっている。屋根付き岸壁の整備により、トラックは日陰で待機することが可能となり、温度上昇に伴うトラック荷台への水掛作業が不要となる。

区分			数量	備考
対象隻数		ホタテガイ漁業(10～20t) (隻)	①	13 調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
対象日数		ホタテガイ漁業(10～20t) (日／年)	②	84 漁協ヒアリング(①と同じ)
トラック台数		ホタテガイ漁業(10～20t) (台/隻)	③	2 漁協ヒアリング(①と同じ)
対象人数		ホタテガイ漁業(10～20t) (人/台)	④	1 漁協ヒアリング(①と同じ)
作業時間	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20t) (時間/日)	⑤	0.5 漁協ヒアリング(①と同じ)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20t) (時間/日)	⑥	0.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業者労務単価		ホタテガイ漁業(10～20t) (円/時間)	⑦	2,177 令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
作業時間の削減		ホタテガイ漁業(10～20t) (千円/年)	⑧	2,377 ①×②×③×④×(⑤－⑥) ×⑦/1000
年間便益額 千円/年			2,377	⑧の合計

⑧ 泊地整備による漁船の航行時間の削減

東浦漁港の第1港区においては、漂砂の影響により泊地水深が不足しており干潮時には海底面に船底やプロペラを擦り損傷する懸念があるため利用漁船は低速で慎重な航行を行っている。泊地水深を確保することにより利用漁船が通常測度での航行が可能となり入出港にともなう航行時間の削減が図られる。

区分			数量	備考		
対象漁船隻数	サケ定置網漁業(5～10t)	(隻)	①	2	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
	サケ定置網漁業(10～20t)	(隻)		1		
	タコ漁業(5～10t)	(隻)		4		
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(隻)		13		
対象回数	サケ定置網漁業(5～10t)	(人/隻)	②	45	漁協ヒアリング(①と同じ)	
	サケ定置網漁業(10～20t)	(人/隻)		45		
	タコ漁業(5～10t)	(人/隻)		135		
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(人/隻)		135		
作業時間人数	サケ定置網漁業(5～10t)	(人/隻)	③	6	漁協ヒアリング(①と同じ)	
	サケ定置網漁業(10～20t)	(人/隻)		6		
	タコ漁業(5～10t)	(人/隻)		3		
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(人/隻)		6		
作業時間	〔整備前〕	サケ定置網漁業(5～10t)	(時間/日)	④	0.10	漁協ヒアリング(①と同じ)
		サケ定置網漁業(10～20t)	(時間/日)		0.10	
		タコ漁業(5～10t)	(時間/日)		0.10	
		ホタテガイ漁業(10～20t)	(時間/日)		0.10	
	〔整備後〕	サケ定置網漁業(5～10t)	(時間/日)	⑤	0.05	漁協ヒアリング(①と同じ)
		サケ定置網漁業(10～20t)	(時間/日)		0.05	
		タコ漁業(5～10t)	(時間/日)		0.05	
		ホタテガイ漁業(10～20t)	(時間/日)		0.05	
漁業者労務単価	サケ定置網漁業(5～10t)	(円/時間)	⑥	1,773	漁協ヒアリング(①と同じ)	
	サケ定置網漁業(10～20t)	(円/時間)		2,177		
	タコ漁業(5～10t)	(円/時間)		1,773		
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(円/時間)		2,177		
航行時間の削減	サケ定置網漁業(5～10t)	(千円/年)	⑦	48	①×②×③×(④－⑤) ×⑥/1000	
	サケ定置網漁業(10～20t)	(千円/年)		29		
	タコ漁業(5～10t)	(千円/年)		144		
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円/年)		1,146		
年間便益額	千円/年			1,367	⑦の合計	

(2) 漁獲機会の増大効果

① 排水施設改良による漁獲機会の増大効果

本漁港港の第1港区の-3.0m岸壁では、特に、サケ定置網漁業やホタテガイ漁業の漁期に、大雨により土砂が漁港内に流れ込み、排水溝のオーバーフローが生じ、海水に土砂が混じりの濁りが発生し給水ができないことから、そうした場合、漁を中止している。排水施設の改良により大雨時のオーバーフローが解消され、漁獲機会の増大効果が図られる。

区分			数量	備考
操業日数	サケ定置網漁業(5～20t)	(日/年)	①	45 調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(日/年)		
漁獲金額	サケ定置網漁業(5～20t)	(千円/年)	②	240,619 2,752,802 漁協ヒアリング(①と同じ)
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円/年)		
操業休止期間	[整備前]	サケ定置網漁業(5～20t)	③	1.2 1.2 漁協ヒアリング(①と同じ)
		ホタテガイ漁業(10～20t)		
	[整備後]	サケ定置網漁業(5～20t)	④	0.0 0.0 漁協ヒアリング(①と同じ)
		ホタテガイ漁業(10～20t)		
漁業所得率	サケ定置網漁業(5～20t)	(%)	⑤	59.0 59.0 水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料(R6.6)
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(%)		
漁獲機会の増大	サケ定置網漁業(5～20t)	(千円/年)	⑥	3,786 14,437 ②/①×(③-④)×⑤/1000
	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円/年)		
年間便益額			千円/年	18,223 ⑥の合計

(4) 漁獲物付加価値化の効果

① 衛生管理施設整備による魚価安定化等の効果

当漁港では、ホタテガイ陸揚げが野天で行われており、直射日光・雨水等による鮮度低下が懸念されていることから国内他生産地との競争や対EU輸出の課題となっている。陸揚げ岸壁への屋根整備により、漁港における高度な衛生管理対策が図られ、漁獲物の鮮度が保持されることにより魚価の下落を未然に防止できる。

区分			数量	備考
年平均漁獲量	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(t) ①	14, 509	H30年～R4年(R2除く)における漁獲量の平均値、港勢調査より
内、EU向け出荷量	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(t) ②	969	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
年平均漁獲金額	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円) ③	2, 680, 621	H30年～R4年(R2除く)における漁獲量の平均値、港勢調査より
対象操業割合	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(%) ④	100	漁協ヒアリング(②と同じ)
魚価低下防止率	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(%) ⑤	10	開発局水産課調査及びH25実施AHPアンケート調査より
維持管理費	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円) ⑥		漁協ヒアリング(②と同じ)
魚価安定化額	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年) ⑦	249, 997	$(1-②/①) \times ③ \times ④ \times ⑤ - ⑥$
年間便益額	千円/年		249, 997	⑦の合計

② ホタテガイの陸揚げに対応した屋根付き岸壁の整備による出荷量の増加

ホタテガイのEU輸出については、生産海域から加工処理までの一連工程における品質管理が定められており、ハード面・ソフト面での一体的な対策により、水産物への汚染を避けることが求められている。衛生管理対応施設整備により、「対EU輸出水産食品の取り扱い：厚労省」に対応した品質管理が可能となり、国内向けと比較し単価の高いEUへの輸出が可能となる。

区分			数量	備考
現EU向出荷量	ホタテガイ漁業(10～20t)	(t) ①	323	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
将来EU向出荷量	ホタテガイ漁業(10～20t)	(t) ②	969	漁協ヒアリング(①と同じ)
現状陸揚金額	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円) ③	2, 680, 621	漁協ヒアリング(①と同じ)
現状陸揚量	ホタテガイ漁業(10～20t)	(t) ④	14, 509	漁協ヒアリング(①と同じ)
EU向陸揚金額	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円) ⑤	72, 181	漁協ヒアリング(①と同じ)
EU向陸揚量	ホタテガイ漁業(10～20t)	(t) ⑥	323	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業経費率	ホタテガイ漁業(10～20t)	(%) ⑦	41. 0	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料(R6. 6)
付加価値化額	ホタテガイ漁業(10～20t)	(千円/年) ⑧	14, 483	$(②-①) \times (⑤/⑥-③/④) \times (1-⑦)$
年間便益額	千円/年		14, 483	⑧の合計

(5) 漁業就業者の労働環境改善効果

① 岸壁の屋根掛け整備に伴う陸揚作業環境の改善

本漁港のホタテガイ漁業は、ほぼ通年で各種作業が行われているが、寒風の厳しい北海道北部沿岸にあっては、年間を通して日平均気温が10℃を下回る日が多々ある。このため、冬季は勿論のこと、それ以外の時期においても比較的寒い環境で作業を強いられる状況となっている。屋根付き岸壁等の整備により寒風の影響が低減され、陸揚げ荷捌き作業における漁業就業者の快適性・安全性が向上する。

区分			数量	備考
出漁隻数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻) ①	13	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業員数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(人/基) ②	15	漁協ヒアリング(①と同じ)
対象日数	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(日/年) ③	6	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業作業ランク	[整備前]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	Bランク ④	1. 162 公共工事設計労務単価(R6)
	[整備後]	ホタテガイ漁業(10～20 t)	Cランク ⑤	1. 000 公共工事設計労務単価(R6)
作業時間	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(時間/日) ⑥	2. 0	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁業者労務単価	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(円/時間) ⑦	2, 177	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
労働環境改善額	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年) ⑧	825	①×②×③× (④－⑤) ×⑥×⑦/1, 000
年間便益額			千円/年	825 ⑧の合計

② -3.0m岸壁改良による就労環境の向上

タコ、ナマコ等、利用漁船の準備・休けい岸壁が不足しており、現状では北防波堤に係留している。しかし、北防波堤での係留は、作業幅が狭い、車両進入ができないなどの理由により、漁労準備作業が非効率となっている。
-3.0m岸壁(改良)の整備により、漁労準備に係る就労環境の改善が図られる。

区分			数量	備考
対象隻数	タコ漁業(3～5t)	(隻)	11	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	タコ漁業(5～10t)	(隻)	1	
	ナマコ漁業(3～5t)	(隻)	2	
対象日数	タコ漁業(3～5t)	(日/年)	135	漁協ヒアリング(①と同じ)
	タコ漁業(5～10t)	(日/年)	135	
	ナマコ漁業(3～5t)	(日/年)	80	
対象作業人数	タコ漁業(3～5t)	(人/隻)	3	漁協ヒアリング(①と同じ)
	タコ漁業(5～10t)	(人/隻)	3	
	ナマコ漁業(3～5t)	(人/隻)	2	
対象作業時間	タコ漁業(3～5t)	(時間/日)	1. 0	漁協ヒアリング(①と同じ)
	タコ漁業(5～10t)	(時間/日)	1. 0	
	ナマコ漁業(3～5t)	(時間/日)	1. 0	
作業ランク	[整備前]	タコ漁業(3～5t)	Bランク	1. 162 公共工事設計労務単価(R6)
		タコ漁業(5～10t)	Bランク	
		ナマコ漁業(3～5t)	Bランク	
	[整備後]	タコ漁業(3～5t)	Cランク	1. 000 公共工事設計労務単価(R6)
		タコ漁業(5～10t)	Cランク	
		ナマコ漁業(3～5t)	Cランク	
漁業者労務単価	タコ漁業(3～5t)	(円/時間)	1, 773	令和4年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和6年3月）
	タコ漁業(5～10t)	(円/時間)	2, 581	
	ナマコ漁業(3～5t)	(円/時間)	1, 773	
労働環境改善額	タコ漁業(3～5t)	(千円/年)	1, 280. 0	①×②×③×④× (⑤－⑥) ×⑦/1000
	タコ漁業(5～10t)	(千円/年)	169. 0	
	ナマコ漁業(3～5t)	(千円/年)	92. 0	
年間便益額			千円/年	1, 541 ⑧の合計

(8) 生命・財産保全・防護効果

① 陸揚げ岸壁の耐震強化に伴う漁業活動損失回避

北海道北部沿岸に地震津波が発生した場合、東浦漁港を含む沿岸域の陸揚岸壁が被災するため、陸揚岸壁の復旧に要する期間は利用漁船の受け入れが不可となり、利用漁船は他港の代替施設の利用を余儀なくされる。整備後は、耐震強化岸壁整備に伴い、被災後においても東浦漁港での陸揚げが可能となり、漁業休業損失額を低減することができるとともに、海上・陸上移動コストが削減される。

区分				数量	備考	
(1) 休業損失の回避						
1隻当たりの平均トン数	3～5t	(トン/隻)	①	4.8	港勢調査表 (R3) より算定	
	5～10t	(トン/隻)		7.5		
	10～20t	(トン/隻)		14.2		
操業漁船隻数	サケ定置(5～10 t)	(隻)	②	2	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
	サケ定置(10～20 t)	(隻)		1		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻)		13		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(隻)		2		
	タコ漁業(3～5 t)	(隻)		11		
	タコ漁業(5～10 t)	(隻)		4		
漁業種類別操業漁船総トン数	サケ定置(5～10 t)	(トン)	③	15.00	①×② (漁業種類別合計)	
	サケ定置(10～20 t)	(トン)		14.20		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(トン)		184.60		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(トン)		9.60		
	タコ漁業(3～5 t)	(トン)		52.80		
	タコ漁業(5～10 t)	(トン)		30.0		
対象漁業種の属地陸揚金額	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	④	240,056	港勢調査5ヵ年平均	
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		2,741,956		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		49,652		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)				
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		90,250		
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)				
1隻当たりの年間生産額	サケ定置(5～10 t)	(千円/隻)	⑤	61,658	④×①/③	
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		116,740		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/隻)		210,920		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/隻)		24,826		
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/隻)		5,232		
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/隻)		8,175		
陸揚可能漁船隻数	整備前	サケ定置(5～10 t)	(隻)	⑥	2	代替港として元稲府漁港の水産物陸揚岸壁利用を想定
		サケ定置(10～20 t)	(隻)		1	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻)		6	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(隻)		2	
		タコ漁業(3～5 t)	(隻)		6	
		タコ漁業(5～10 t)	(隻)		4	
	整備後	サケ定置(5～10 t)	(隻)	⑦	2	東浦漁港耐震強化岸壁利用
		サケ定置(10～20 t)	(隻)		1	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(隻)		13	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(隻)		2	
		タコ漁業(3～5 t)	(隻)		11	
		タコ漁業(5～10 t)	(隻)		4	
漁業所得率		(%)	⑧	59.0	令和3年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和5年2月)	
休業損失回避額	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	⑨	0	⑤× (⑦－⑥) ×⑧	
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		0		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		871,100		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		0		
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		15,434		
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)		0		
震災1回当りの便益額		(千円/年)	⑩	832,751	⑨×11/12+⑨×0.962×12/12	

(2) 海上移動に要する時間・経費の削減効果						
	年間操業回数	サケ定置(5～10 t)	(回/年)	⑪	45	漁協ヒアリング (②と同じ)
		サケ定置(10～20 t)	(回/年)		45	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(回/年)		135	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(回/年)		80	
		タコ漁業(5～10 t)	(回/年)		135	
		サケ定置(5～10 t)	(回/年)		135	
	漁船乗組員数	サケ定置(5～10 t)	(人/隻)	⑫	6	漁協ヒアリング (②と同じ)
		サケ定置(10～20 t)	(人/隻)		6	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(人/隻)		6	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(人/隻)		2	
		タコ漁業(3～5 t)	(人/隻)		3	
		タコ漁業(5～10 t)	(人/隻)		3	
	漁船航行時間	整備前	(時間/回)	⑬	8.6	移動距離120km、航行速度を8.7ノットとして算定
		整備後	(時間/回)	⑭	0.7	移動距離10km、航行速度を8.7ノットとして算定
	漁業者労務単価	サケ定置(5～10 t)	(円/時間)	⑮	2,581	令和3年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和5年2月)
		サケ定置(10～20 t)	(円/時間)		2,177	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(円/時間)		2,177	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(円/時間)		1,773	
		タコ漁業(3～5 t)	(円/時間)		1,773	
		タコ漁業(5～10 t)	(円/時間)		2,581	
	移動コストの削減	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	⑯	11,011	$(⑦ \times ⑭ - ⑥ \times ⑬) \times ⑪ \times ⑫ \times ⑮$
		サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		4,644	
		ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		74,943	
		ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		4,482	
		タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		31,523	
		タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)		33,032	
	震災1回当たりの便益額			(千円/年)	⑰	149,950
(3) 移動に要する漁船経費の削減効果						
漁船馬力	サケ定置(5～10 t)	(PS)	⑱	210	10t以上＝474ps、10t未満＝262ps 航海時の馬力は定格出力の80％で算定	
	サケ定置(10～20 t)	(PS)		379		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(PS)		379		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(PS)		210		
	タコ漁業(3～5 t)	(PS)		210		
	タコ漁業(5～10 t)	(PS)		210		
漁船燃費消費量			(L/ps・hr)	⑲	0.0002	漁船用推進機関の標準燃料消費率:0.17kg/PS・h油料 重量:重油860kg/m3
燃料単価			(円/L)	⑳	94.3	油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部) A重油
燃料経費削減額	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	㉑	2,783	$(⑦ \times ⑭ - ⑥ \times ⑬) \times ⑱ \times ⑲ \times ㉒ / 1000$	
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		2,512		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		40,534		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		4,948		
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		23,200		
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)		16,699		
震災1回当たりの便益額			(千円/年)	㉒	85,175	$㉑ \times 11/12 + ㉑ \times 0.962 \times 12/12$
休業及び海上移動に係る経費削減の合計			(千円/年)	㉓	1,067,876	$⑪ + ⑰ + ㉒$
(4) 陸上移動に係る労務費削減効果(トラック輸送)						
1隻当りの車両台数	サケ定置(5～10 t)	(台/隻)	㉔	3	漁協ヒアリング (②と同じ)	
	サケ定置(10～20 t)	(台/隻)		3		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(台/隻)		2		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(台/隻)		1		
	タコ漁業(3～5 t)	(台/隻)		1		
	タコ漁業(5～10 t)	(台/隻)		1		
車両乗車人数			(台/隻)	㉕	2	
往復移動距離	整備前	(km)	㉖	340	元稲府漁港－稚内市内加工場(往復)	
	整備後	(km)	㉗	20	東浦漁港－稚内市内加工場(往復)	
走行速度			(km/hr)	㉘	40.0	港湾投資の評価に関する解説書2011
往復移動時間	整備前	(hr)	㉙	8.5	$㉖ / ㉘$	
	整備後	(hr)	㉚	0.5	$㉗ / ㉘$	
労務単価			(円/時間)	㉛	2,151	令和3年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和5年2月)
陸上移動に要する労務費削減額	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	㉜	9,292	$(⑦ \times ㉚ - ⑥ \times ㉙) \times ㉔ \times ㉕ \times (㉚ - ㉙) \times ㉛ / 1000$	
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		4,646		
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		51,689		
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		5,507		
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		26,425		
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)		18,585		
震災1回当たりの便益額			(台/隻)	㉝	109,098	$㉜ \times 11/12 + ㉜ \times 0.962 \times 12/12$

(5) 陸上移動に要する経費の削減効果（トラック輸送）				
走行経費		(円/km)	㉔	37.68
GDPデフレータ		(円/km)	㉕	1.049
陸上移動に要する経費削減額	サケ定置(5～10 t)	(千円/年)	㉖	3,415
	サケ定置(10～20 t)	(千円/年)		1,708
	ホタテガイ漁業(10～20 t)	(千円/年)		18,996
	ナマコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		2,024
	タコ漁業(3～5 t)	(千円/年)		9,712
	タコ漁業(5～10 t)	(千円/年)		6,830
震災1回当たりの便益額		(千円/年)	㉗	40,095
陸上移動に係る経費削減の合計		(千円/年)	㉘	80,910
震災1回当たりの便益額合計（海上+陸上）		(千円/年)	㉙	1,148,786
年間便益額		× (74 / 75) t-1 千円/年		13,792

② 耐震強化岸壁整備による施設被害の回避

耐震強化岸壁は、震災時に損壊を免れることができ、復旧のための追加的な支出を回避できる。よって、-3.5m岸壁(改良)整備による追加的な復旧費の回避を便益として計上する。耐震強化を行わなかった場合(Without時)、震災時には岸壁が崩壊するため、復旧には再度初期建設費（撤去費を含む）が耐震補強費に上乗せされて必要になる。一方、耐震強化を行った場合(With時)は、震災時において施設に損壊が発生しない。

区分			数量	備考
耐震化費用	(千円)	①	2,365,500	震災発生時は施設が全壊し、被災施設の撤去および再建設費用が発生
非耐震化費用	(千円)	②	0	耐震のため、地震発生時には被害回避
震災1回当たりの便益額	(千円/年)	③	2,365,500	①－②
年間便益額（千円/年）	× (74 / 75) t-1 千円/年		26,809	③×(1/75-1/500)×(74/75)t-1

(9) 避難・救助・災害対策効果

① 漁港施設の整備による海難損失の回避効果

東浦地区の周辺海域では多くの漁船が操業しており、荒天時には避難利用の要請がある。しかし、荒天時における港内静穏度の不足から、避難漁船の受入れができない状況となっている。外郭施設の整備により、荒天時の港内静穏度が確保されることで、避難漁船を受入れることが可能となり、海難による漁船損失を未然に回避することができる。

区分		数量	備考
漁船クラス（浜猿払漁港所属 ホタテガイ桁曳き漁業漁船）	(トン)	① 14.0	調査日：令和6年2月22日 調査対象者：宗谷漁業協同組合職員 調査実施者：稚内港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
漁船建造費	(千円/トン)	② 5,030	造船造機統計調査(国土交通省)のFRP製漁船(20t未満)より算定
漁船損傷に伴う損失額係数	全損/全損	1.0	係数は「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-16-36)より
	重損傷/全損	0.70	
	軽損傷/全損	0.20	
漁船損傷損失額	全損	70,420	①×②×③
	重損傷	49,294	
	軽損傷	14,084	
損傷修繕期間	全損	180	「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-16-39)より
	重損傷	30	
	軽損傷	14	
漁船休業損失額	全損	38,981	漁業経営調査報告より 休業損失額 3～20t 対象
	重損傷	38,981	
	軽損傷	38,981	
漁業休業損失額	全損	7,017	⑤×⑥
	重損傷	1,169	
	軽損傷	546	
人的被害損失額	全損	200	原単位は「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-15-21)より
	重損傷	200	
	軽損傷	0	
損失区分別損失額原単位	全損	77,637	④+⑦+⑧
	重損傷	50,663	
	軽損傷	14,630	
避難船年間受入隻数	(隻/年)	⑩ 1	過去5ヵ年の避難実績における平均値より
年間避難機会(回数)	(回/年)	⑪ 2.88	紋別港沖波高計観測データによる荒天日数、H23～R2の平均を対象(出典：全国港湾海洋波浪観測年報)
避難対象延べ隻数	(隻/年)	⑫ 2.9	⑩×⑪
発生比率	全損	0.078	原単位は「港湾投資の評価に関する解説書2011」より
	重損傷	0.158	
	軽損傷	0.218	
1) 浜猿払漁港所属 ホタテガイ桁曳き漁業漁船	(千円/年)	⑬ 50,024	⑨×⑫×⑬
漁船クラス（頓別漁港所属 定置網漁業漁船）	(トン)	⑮ 19.0	漁協ヒアリング(①と同じ)
漁船建造費	(千円/トン)	⑯ 5,030	造船造機統計調査(国土交通省)のFRP製漁船(20t未満)より算定
漁船損傷に伴う損失額係数	全損/全損	1.0	係数は「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-16-36)より
	重損傷/全損	0.70	
	軽損傷/全損	0.20	
漁船損傷損失額	全損	95,570	⑮×⑯×⑰
	重損傷	66,899	
	軽損傷	19,114	
損傷修繕期間	全損	180	「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-16-39)より
	重損傷	30	
	軽損傷	14	
漁船休業損失額	全損	38,981	漁業経営調査報告より 休業損失額 3～20t 対象
	重損傷	38,981	
	軽損傷	38,981	
漁業休業損失額	全損	7,017	⑮×⑳
	重損傷	1,169	
	軽損傷	546	

人的被害損失額	全損	(千円/隻)	㉒	200	原単位は「港湾投資の評価に関する解説書2011」(2-15-21)より
	重損傷	(千円/隻)		200	
	軽損傷	(千円/隻)		0	
損失区分別損失額原単位	全損	(千円/隻)	㉓	102,787	㉑ + ㉒ + ㉔
	重損傷	(千円/隻)		68,268	
	軽損傷	(千円/隻)		19,660	
避難船年間受入隻数		(隻/年)	㉔	1	過去5ヵ年の避難実績における平均値より
年間避難機会(回数)		(回/年)	㉕	2.62	紋別港沖波高計観測データによる荒天日数、H23～R2の平均を対象(出典；全国港湾海洋波浪観測年報)
避難対象延べ隻数		(隻/年)	㉖	2.6	㉔ × ㉕
発生比率	全損		㉗	0.078	
	重損傷			0.158	
	軽損傷			0.218	
2) 頓別漁港所属 定置網漁業漁船		(千円/年)	㉘	60,032	㉓ × ㉖ × ㉗
合計便益額		(千円/年)	㉙	110,056	㉑ + ㉘
事業費按分率		(%)	㉚	6.0%	前特定計画と現特定計画の外郭施設の事業費の比率
年間便益額		(千円/年)		6,603	㉙ × ㉚

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

評価指標			ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2				直近5年程度での発生がある
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		強風下での危険な状況での係留作業であり海中転落等の事故発生が懸念される	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2				転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		強風下での危険な状況、エプロン等の不陸により足元が悪い作業環境である	軽い打撲等
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	危険性小計		0～6	2	0		
	作業環境	a.極めて過酷な作業環境である	5				極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である		3	○		強風下での作業であり、風・波浪の影響が大きい環境である	風雨、波浪の飛沫等	
c.風雨等の影響を受ける場合がある		1					
d.当該地域における標準的な作業環境である		0		○			
重労働性	a.肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
	b.肉体的負担が比較的大きい作業	3				長時間の同じ姿勢での作業等	
	c.肉体的負担がある作業	1	○		強風下での係留作業であり、通常の係留作業より肉体的負荷が大きい		
	d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計				6	0		
作業ランク				B	C		

Aランクの条件:評価ポイント計16～13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5～0ポイント

評価指標		ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○	防波堤での係留のため天端高が高く、作業幅が狭いため海中転落等の事故発生が懸念される	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○	
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	強風下での危険な状況、作業スペース等の不陸により足元が悪い作業環境である	軽い打撲等
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○	
	危険性小計		0～6	2	0	
	作業環境	a.極めて過酷な作業環境である	5			極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○	荒天時には越波等があり、警戒係留や定期的な見回り作業が必要な環境である	風雨、波浪の飛沫等
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1			
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0		○	
重労働性	a.肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等
	b.肉体的負担が比較的大きい作業	3				長時間の同じ姿勢での作業等
	c.肉体的負担がある作業	1	○		防波堤での係留のため天端高が高く、作業幅が狭いため、通常の係留作業より肉体的負荷が大きい	
	d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○		
評価ポイント 計			6	0		
作業ランク			B	C		

Aランクの条件:評価ポイント計16～13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5～0ポイント